

# 準早期水稻管理情報 NO.2

J A 粕 屋  
北筑前普及指導センター

## 1. 生育概況

6月上中旬の平均気温は平年並、降水量は平年比 156%と多く、日照時間は平年並で推移しました。  
6月25日の現地生育調査において、「夢つくし」の5月13日頃植えで稲1株あたり茎数は平均27本、5月20日頃植えで平均22本、5月27日頃植えで平均17本（ただし、地区や植え込み本数により差があります）と、概ね平年並の生育となっています。

なお、今後の生育に応じた栽培管理の時期については、次のとおりと予想されます。

| 品種   | 田植時期   | 穂肥目安時期<br>(出穂前 20~18 日) | 病虫害防除目安時期<br>(平年出穂時期) |
|------|--------|-------------------------|-----------------------|
| 夢つくし | 5月13日頃 | 7月5~7日頃                 | 7月25日頃                |
|      | 5月20日頃 | 7月8~10日頃                | 7月28日頃                |
|      | 5月27日頃 | 7月13~15日頃               | 8月2日頃                 |

## 2. 水管理

### (1) 中干し後 ~ 穂肥の時期

再び【**間断かん水**】を行いましょう。また、水の溜め過ぎ・乾かし過ぎは避けて下さい。  
健全な根を維持し、収量・品質・食味の向上を目指しましょう。

### (2) 穂肥の時期 ~ 出穂の時期

【**浅水管理**】をして、水を切らさないようにしましょう。水稻が最も水を必要とする時期です。

## 3. 穂肥

① **基肥に「緩効性(一発)肥料」**(有機特栽米エムコート 256号、エムコート 020等)を施用した場合  
→ 今回の穂肥施用は必要ありません。

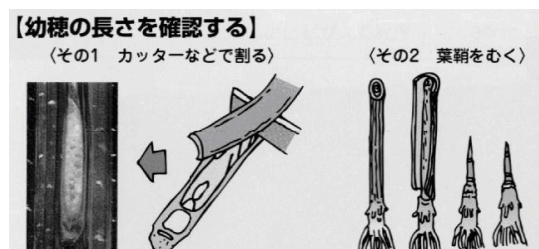
② **基肥に「速効性肥料」**(有機特栽米基肥 017号、くみあい化成ベスト 444等)を施用した場合

| 品種   | 肥料名 (いずれかの資材を選択) | 施用量 (/10a) |
|------|------------------|------------|
| 夢つくし | 有機特栽米追肥 047号     | 20kg       |
|      | または<br>NK化成2号    | 15kg       |

**施用時期は、出穂前 20~18 日**（〔1.生育概況〕参照）、**幼穂長 2~5mm、葉色 3.5 が目安**です。  
ただし、なたね油粕を使用する場合は、施用時期を上記目安より更に 10~7 日早め、  
施用量を 30kg/10a とします。

### ★ポイント

- 右図を参考に、各ほ場で幼穂長を確認して下さい。
- ほ場の地力・水稻の葉色により、穂肥の施用時期・施用量は調整して下さい。
- 葉色が濃いほ場（4.0 以上）、茎数が多過ぎるほ場（30 本/株以上）は、倒伏の可能性もありますので、穂肥の散布時期を遅らせるか、施用量を減らしましょう。



#### 4. 病害虫防除

【**基幹防除**】 下記により、いずれかの体系で必ず防除を実施して下さい。

##### ①いもち病常発地帯

| 品種   | 対象病害虫                        | 体系・農薬名   | 処理量(/10a)   | 使用時期  |
|------|------------------------------|--|---|---|
| 夢つくし | いもち病<br>紋枯病<br>ウンカ類<br>カメムシ類 | [粉剤体系]<br>ダブルカットバリダ<br>トレボン粉剤3DL                 | 3kg   | 出穂期～穂揃い期<br>(収穫 14 日前まで)                            |
|      |                              | [液剤体系]<br>ダブルカットフロアブル<br>モンセレンフロアブル<br>キラップフロアブル | [希釈水量 140 ㍓]<br>140ml (1000 倍)<br>93ml (1500 倍)<br>140ml (1000 倍) | 出穂期～穂揃い期<br>(穂揃期まで)<br>(収穫 21 日前まで)<br>(収穫 14 日前まで) |
|      |                              | [粒剤体系]<br>ゴウケツモンスター粒剤                            | 3kg   | 出穂 30～5 日前まで<br>(収穫 45 日前まで)                        |

##### ②上記以外の地帯

| 品種   | 対象病害虫         | 体系・農薬名              | 処理量(/10a)                      | 使用時期                     |
|------|---------------|---------------------|--------------------------------|--------------------------|
| 夢つくし | ウンカ類<br>カメムシ類 | [粉剤体系]<br>キラップ粉剤 DL | 3kg                            | 穂揃い期<br>(収穫 14 日前まで)     |
|      |               | [液剤体系]<br>キラップフロアブル | [希釈水量 140 ㍓]<br>140ml (1000 倍) | 穂揃い期<br>(収穫 14 日前まで)     |
|      |               | [粒剤体系]<br>キラップ粒剤    | 3kg                            | 出穂直前～出穂期<br>(収穫 14 日前まで) |

##### ★ポイント

- ・「出穂期」：全莖数の40～50%が出穂（穂先が現れること）した日  
(各田植時期毎の平年出穂時期は〔1.生育概況〕を参照して下さい。)
- ・「穂揃い期」：全莖数の90%が出穂（穂先が現れること）した日  
(概ね出穂期の数日後に穂揃い期となります。)

##### 【補正防除】

平成 30 年度稲作ごよみ《補正防除》を参照して下さい。

特に、雨が降って気温が低い日が続くと、「いもち病」が発生しやすくなります。  
発生した場合は早めに補正防除を行いましょう。

##### ★ポイント

- ・「紋枯病」は、過繁茂のほ場で発生が多くなります。
- ・「カメムシ」は畦畔や休耕田のイネ科雑草が発生源になるため、  
出穂予想時期の 2 週間前までに草刈をしましょう。  
ただし、出穂直前に草刈りすると、「カメムシ」が水田に移動するため、  
逆に被害が大きくなります。

※ スタークル剤（粉剤・液剤）を散布する場合は、

ミツバチへの危害防止の為、稲の開花期の散布は避けて下さい。

※ ふくおかエコ農産物認証（旧：福岡県減農薬・減化学肥料栽培認証）を取得されている方は、  
栽培計画に記載されている農薬・除草剤を使用しましょう。

##### 農薬安全使用のポイント

- ① 散布前は農薬ラベルを確認しましょう
- ② 散布時は近隣作物への飛散に気をつけましょう
- ③ 水田では 1 週間は止水期間を設けましょう
- ④ 散布後は散布器具を洗浄しましょう
- ⑤ 防除履歴を記帳しましょう